

報告日 令和7年12月17日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	株式会社S.vision.			代表者名	越智 俊一郎
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	全般	連絡先電話番号	072-275-9720
担当者役職	代表取締役	担当者氏名	越智 俊一郎	連絡先E-mail	
住所	590-0016 大阪府堺市堺区中田出井町3-2-8				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	堺市	連絡先部署	地域産業課
担当者氏名	坂本 拓也	連絡先電話番号	072-228-7534

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	障がい者を対象としたグループホーム
概要	すべての人が心身ともに健康で、輝きながら暮らし続け充実した生活を送ることをめざし、障がいを持った方を対象としたグループホームの運営を開始しており、地域のWell-being向上に資する取組をさらに推進すること。 物流部門・福祉部門での従業員の働きやすさを向上させるため、システム等デジタル技術を活用することでコミュニケーションを通じたメンタルケアを実施し、勤怠管理などもシステム化したい。		
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） プロジェクトマネジメント支援 教育情報化／情報教育 働き方 医療・介護・健康		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	776	令和7年12月12日	事前打合せ&支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年12月15日	事前打合せ&支援・助言(実地)	13時30分	16時30分	
				活動時間（分）	180
2-2. 派遣場所	会場名	株式会社S.vision. 本社	最寄駅	南海高野線堺東駅	
	所在地	大阪府堺市堺区中田出井町3-2-8	最寄駅からの交通手段	徒歩11分	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	米田 宗義
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	本市の課題でもある障害者の暮らしの場所や社会参加の機会の確保に向け、地域の事業者をモデルケースとすべく現状把握から取組の方向性の整理まで的確に行っていたき参加者のコミットを引き出させていただいた。
アドバイザーへの要望事項	引き続きお願ひいたしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	8人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	3		5	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	当社は運送業（3PL）や人材派遣業を主業とし、令和7年4月より障がい者を対象とした少人数制のグループホーム（共同生活援助施設）の運営を開始。さらに4拠点の開設を予定し地域の地域のWell-being向上に資する取組を加速している。事業多角化・拠点の急拡大に伴い、管理者や有資格者の確保や教育制度の確立などが課題となり、デジタル技術の活用にて解決をめざす。 取り組みの結果、堺市も課題とする「障がい者の暮らしの場所の確保」や「社会参加の促進」などの解決を通じ、地域の福祉機能の強化も期待される。 【ご参考】堺市では地域ぐるみでDX推進を支援する堺DX推進ラボという連携体を構築し、経済産業省より「地域DX推進ラボ」として認定されている。地域ぐるみのDX推進に向けた活動のなかで、地場企業等のDXを推進し、堺市の課題についても解決を図るものである。（【参考】堺基本計画2025 重点戦略2「人生100年時代の健康・福祉～Well-being～」）
---------------------------	--

支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	■デジタル技術を活用し、人材管理や情報管理、教育制度などをシステム的に運用することで、人材の確保・定着を図り、利用者に対するサービスレベルの向上をめざす。 ■障がい者の暮らしの場所の確保や社会参加機会の増加に寄与する取組であり、地域のWell-being向上に貢献する。 ■専門家のアドバイスを受け令和8年3月の達成をめざす。
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	現状把握や現在のタイミングで取り組むことの意義、今後の課題に対しどのようにアプローチするかなど全体像をご説明いただき、参加者の共通認識を醸成。コミットを引き出してください。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	■現状把握、経営レベルの戦略、アクションの概略、現場業務や人材育成の懸案事項等の整理と現状について共有し、今後の流れや方向性などを参加者間で確認・合意し共通認識をもと推進する。 ■デジタル技術の活用や人材管理や情報管理、教育制度などのシステム検討は、2回目の現場キーマンによる業務改革の検討にすすみ、最終的に実践に向け進めて行く。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない ■(受領物) 中期経営計画書(2025年11月) ■DX認定取得支援でアウトプットされる成果物を参考情報として入手予定
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	■2回目の検討内容に関する正式決定(企業側の最終決定待ち) ■2回目の段取り、日程、場所の確定 ※本市にて調整進める
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 初回につき実施せず。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ③現段階では課題・問題が残っているため未定 次回に課題・問題を明確化し具体的なアプローチの検討などに進めて行く予定。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DXの実現により新たな価値提供が出来る仕組みづくり。価値提供を通じ本市の課題である障害者の暮らしの場所確保や社会参加の促進を加速させる。モデルケースとして横展開などを図る。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

